

I. 室蘭市

商店街などに日頃感じている意見（室蘭市民）

○ 現状不満を感じていること

- ・ 地元個人商店が少なく、入りづらい感じで利用したことがない。目玉商品があれば利用するかも？
- ・ 活気がない。ほとんどの店が閉まっている。店は八百屋かおばちゃんを着る服ばかり。（輪西地区の住人）
- ・ 蘭西に（特に中央町くらいまで）家族で気軽に行けるような飲食店（ファミレスでも）がない。白鳥大橋を渡って伊達方面やモル工に行く。
- ・ 中央町は暗く値段が高いイメージ。駐車場がない。
- ・ 個人商店、大型店とも店員のイライラが顔に出ている。接客態度を改めて欲しい。
- ・ 高齢者の着るものを売っていない。
- ・ 高砂地区にストアーがなくなり不便。
- ・ 買い物に行きたくなる店がない。
- ・ 閉店時間が早すぎる、土日に休んでいる店が多い。品物が少なく高い。
- ・ 中島のモル工は何故許可したのか。この施設が無くては不便はない。無駄な競争をしている。
- ・ 商店の人々に暖かさが感じられない。古い慣習に縛られているような気がする。昔は良かったという感じに浸り切っているようで、愛想が悪く二度と行きたくないと思わせる雰囲気。
- ・ 昔は小売店での買い物は当たり前だったが、コンビニ、大型店で何でも買える時代で小売店がこの先どう生きていくのか先が見えない。シャッター通りとも言える蘭西地区、輪西地区。生き残りは大変、町会の和気あいあいが薄れていく現在小売店の未来はない。
- ・ 食品の原産国が表示してあるが、本当なのか気になる。
- ・ 地元商店街では品数が少ないため色々選べる大型店に行ってしまう。
- ・ 室蘭では電化製品が高いので札幌まで行く。
- ・ 陶芸の用具などを札幌まで行かないと求められず、不自由である。
- ・ 地方から来た人が食事に夜7時過ぎに行くと電気は消えていて食事する店がないと言われる。
- ・ 地元商店が大型店進出により、生鮮食料品の質が低下したので利用しなくなった。
- ・ 乳児がいるので、乳児用の施設がある所でないと不安。
- ・ 前時代的な遺物的商店が多く魅力に欠ける。積極的にハード、ソフトを研究する努力が必要で行政ばかりに依存する姿勢が大きく見える。自己責任、努力に欠けるような感じがする。何かそこで買うのがあたり前の地域バイ運動は成功しないと考える。
- ・ モル工中島店は店が広いので物を探すのに時間が掛かって大変。
- ・ 売れないせいか鮮度が良くない。値札を見て購入してレジに持っていくと金額が違うので店員に言うと言われないと言われたことが数回あり、高いほうの値札をつけていない。不信感あり。
- ・ パック包装が多すぎる。
- ・ 一般商店には消費期限ギリギリの物や埃のかぶったものなど買う気をなくすることもある。
- ・ 中央地区の老舗と言われる商店はウインドショッピングが難しく、入ると何か買わなくてはいけない雰囲気。
- ・ アーケード街は車の進入禁止のはずが、何故か車が止まっている。
- ・ 身障者用駐車スペースの適正な運用を希望。（健常者の違法駐車が多く見受けられる）
- ・ 必要なものが地域で揃わない。
- ・ 大型店の店員の笑顔が足りない。
- ・ 空き店舗やシャッターが閉まっているのは見た目によくない。商店街へ買い物に行っても品物を見たい、買いたい店がない。昔から続く店は分かるが、若い人に向けた店造りになっていないので行かない。行く気にならない。（中央町アーケード街とか）
- ・ 商店街の独立した商店は必要。一寸した買い物でも大型店はレジに並んで、時間が掛かる。何でも揃う雑貨屋があれば、多少値段が高くても利用する。大型店、スーパーは身近な個人商店を潰すだけ。
- ・ 小母さん達の接客態度と礼儀、挨拶、声かけに気をつけて欲しい（親切心を養う）。トイレに行ったら前掛けで手を拭きながら戻ってこないこと。おしゃべりにも限度があるので、お客の気分を書さないようにして欲しい。

- ・ 特色を持った店が少ない。客に対して来たから売ってやると言う態度でまるで商売気のない消極的な店が目につく。
- ・ 駐車場が少なく個人商店は入り難い。
- ・ 地元の商店は他の店に比べて品数が少なく、価格が高いため、遠くでも安いスーパーに出かける
- ・ 北海道の土産物店と土産物の種類が少ない。足の悩みを解決してくれる靴店がない。道外の人が来ても食事をさせる所が余りにも少ない。
- ・ 時々ある特売セールで時間限定販売は利用しづらい。
- 現状に満足
 - ・ 白鳥台は他地区に比べて恵まれた店揃い。
 - ・ 中島地区ですが、店員さん皆親切です。教育されていると思う。
- 今後改善又は取組むべき点
 - ・ 店内の品物の配置に工夫が欲しい。
 - ・ 地元商店街の利用も大切であるが、もっと商店街の個性やアイデアを出していく事が地元住民を引きつけ活性化に結びついて行くものであると思う。工夫が必要。
 - ・ 高齢者に無料でなくても良いので、宅配をして欲しい。
 - ・ 赤ちゃんがいるので、夫の休みに買い物集中。近くで託児所、ベビーシッターの利用が出来れば良い。インターネットが普及しているので、地元でのネットショッピングが出来れば良い。
 - ・ 買い物は家族全員で行くことが多いので、それぞれが楽しめる大型デパートに行くことになる。
 - ・ 若者は大型店に流れると思うが、高齢者にとっては地元商店が不可欠であり、是非このような運動を進めて欲しい。
 - ・ 地区を大切にしたいので、日常買い物は地元で。大型店にある食品を置いて欲しい。品質、鮮度良いものを揃えて欲しい。
 - ・ 昔駐車場（共同）の整備と個性ある商店（品揃え、営業時間等）の確立。行政の支援が必要。
 - ・ 一般家庭の廃油（エコ利用）を各地区商店街で取り組んで欲しい。
 - ・ 商店街は暗い、お年寄りというイメージがあり、もっと若者達にもうけるような街づくりが良い。モールには飲食店が少ないので商店街にもっとオシャレな店があったほうが良い。
 - ・ 自分の店の品物に自信を持てる様な心意気が必要。色々なアイデアを盛り込んでお客の足をとめようとする気持ちを大いに発揮してもらいたい。私は自分の住んでいる所を大切に想うから）
 - ・ 商品券、スタンプ等地元の商店街共通の物を作るなどして集客を図ってはどうか。
 - ・ 最近は食の安全が重視されているが添加物の少ない食品、商品など、ポストフルは考えて扱っていると思う。消費者が選べるよう、少しでも良いので、安心、安全な商品を扱って欲しい。

Ⅱ. 登別市、伊達市

商店街などに日頃感じている意見（登別・伊達市民）

○ 現状不満を感じていること(登別市民)

- ・ 生鮮食料品の品質、価格など、店によって特徴があるので、品質の良いもの、価格の安い店と必要に応じて分けている。
- ・ 買物に便利なのは駐車スペースがあり、入りやすい事。店先に植木や花が飾ってある店は、その店の人柄が出ている様で品物にも気を使っているように思われる。反面ゴミが散らかっていたり、雑草が生えている店は不衛生で通り過ぎてしまう。
- ・ 若い店員は「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」「申し訳ございません」等の接客に対する教育がなっていない。
- ・ 子供が商品をいたずらしても、誰も注意しない。売る側も買う側ももっと注意すべきである。
- ・ モルエに行ったが、売り場が広すぎて歩くのに時間がかかり、行かなくなった。
- ・ 地元の店は値段が高く、品数が少なく食料品、日用品以外は買う気にならない。
- ・ 出来るだけ地元と思っているが、室蘭のほうが品数は多く選択肢が広がるので室蘭で買うのが多くなっている。
- ・ 接客の店員が五月蝿い。ゆっくり買物がしたい。
- ・ ポスフルに近く利用することが多いが、探し物を訊ねてもその様な商品はないと代わりになる商品を進めることもなく聞いても役に立つ情報が得られない。もう少し積極的な対応を望む。
- ・ 登別の大型店は特売日以外の生鮮食料品は値段が高くほとんど行かない。家電販売店が無くなったのでモルエに行き食料品等を買う回数が増えた。
- ・ 外食したくても市内に店が少なく市外を利用することが多い。
- ・ 流行ばかり追っている店が多く個性に欠けている。季節を先取りする傾向が強く、実際に必要な時には店頭品物が無いことが多い。
- ・ 商品の回転が悪いためか品質が落ちる。

○ 今後改善又は取組むべき点(登別市民)

- ・ 小さな店でも月1度位は特売品の売り出しにより、活性化に繋げて集客力に努めて欲しい。
- ・ 多少値段が高めでも地元で採れた低農薬、自然農法、有機栽培の野菜を扱う八百屋があれば利用したい。
- ・ 苦小牧のジャスコのように1カ所で全て買物が出来る店舗が理想。
- ・ 店の中に託児所が欲しい。
- ・ 中小店舗は集約した上で1つの大規模店舗にしたほうが良い。
- ・ 食料品に関しては、近くのスーパーで買うことが多いが、それ以外は専門店が少なく他市町村に行かざるを得ないので市内にも品質、価格は勿論、おしゃれて立ち寄ってみたい店造りを考えては。
- ・ 徒歩でも買物に行ける商店が消えることなく大型店と共存して欲しい。
- ・ 昔と違い、品揃いの多いところで買物をするほうが、効率がよく、商店での買物が少なくなった。まとめ買いをして足りない物は近くで買うパターン。仕事をしているので遅くまでやっている店は助かる。
- ・ 食品に使っているトレーの数が多すぎる。包装ももつと簡単にすべきである。

○ 現状不満を感じていること(伊達市民)

- ・ 伊達の市役所前商店街は閑散として寂しい。商店街に魅力があるわけではなく、大型店に行ってしまう。
- ・ 小売店など閉店時間が早い。
- ・ アークスに安い品物が多く地元で買うことを躊躇することが多くなった。子供服の品数が少なく札幌に行く。
- ・ 伊達駅前商店街の衰退が激しく買物したくても、用の足りる商店はほとんどない。後継者問題を含め区画整理等を進めて魅力ある街づくりを考えるべきである。
- ・ ノルマのある店なのか店員が寄り添うので落ち着いて品定め、購入ができない。接客に横暴さがみられ不愉快である。
- ・ 伊達産の野菜が室蘭のデパートの方が安いので、伊達の販売店に努力して欲しい。在庫切れが多く、在庫管理をしっかりして欲しい。

○ 今後改善又は取組むべき点(伊達市民)

- ・ 埼玉から移住してきたが、商店、スーパーに欲しいものが少ないと感じる。品揃いを考えて欲しい。
- ・ 専門書を扱う書店、子供を連れて行っても大丈夫で複数の飲食店から好きなものを選んで食べられる店があれば。
- ・ 市内雑貨店の対応は小さい子供を連れての買物であるが子供への気使いが素晴らしくゆっくり買物ができた。又、マニュアル的挨拶ではなく明るい声と笑顔での挨拶に感心した。この様な店が増えると良い。
- ・ 接客態度の良いのは大型店、個人商店は接客を大切にしたい。